

学習用具のきまりについて

保護者の皆様へ

学校の授業では、学習したことが、子供たちにきちんと身に付くようにしなければなりません。そこで、学習に適した用具の使用にご協力ください。子供たちの学習充実のため、次の「学習用具のきまり」を守って、学習内容がしっかり身に付くようにしましょう。

※ 学習に集中して取り組めるように、学校で使う文房具は、できるだけキャラクターなどがデザインされていないものを使うようにしましょう。

1 筆箱の中

① えんぴつは、Bか2Bのものを5本程度、記名して入れておきましょう。

※ 筆圧の変化などに応じて、HBを使用するなど自分に合ったえんぴつ選びを心がけましょう。その際、書いた文字が、はっきり見えるようにしましょう。

② えんぴつは、毎日家でけずってきましょう。

③ えんぴつ以外に、赤えんぴつ・青えんぴつ（学年によっては、赤ペン・青ペン）、消しゴム、15cmくらいの定規、名前ペン（油性ペン）を入れておきましょう。必要ないペンは、持ってこないようにしましょう。

④ シャープペンシルは、使わない（持ってこない）ようにしましょう。



2 下じき

① ノートに文字を書くときは、必ず下じきを使いましょう。

② 紙下じきや硬筆等のソフト下じきなど、できるだけ無地のものを使いましょう。

3 引き出しに入れる道具

① のり、はさみ、色えんぴつ、クレヨンなど学習でよく使うものを入れておき、すぐ使えるように整理しましょう。

※ 引き出しの中に入れる道具は、上記の物以外にも、三角定規、分度器、コンパスなどが予想されます。学年の先生の指示に従って準備しましょう。

4 その他

① 国語辞典をもっている人は、持って来ましょう。その際、国語辞典を入れる袋を準備しましょう。（3年生以上は、マイ辞書の準備をし、国語の学習のときだけでなく様々な教科で辞書を積極的に活用し、学習に取り組みましょう。）

※ 机の横にはグループ活動がしやすいように、帽子と国語辞典の袋など、限られたものをかけます。

